

第1章

優しく賢くたくましい 大野人が育つまち

基本施策 1	心豊かな人づくり	18
基本施策 2	豊かな心を育てる文化力の育成	22
基本施策 3	活力あふれるスポーツ社会の実現	24
基本施策 4	共に力を合わせるふるさとづくり	26



基本施策1 心豊かな人づくり

現状と課題

私たちの生活は、経済の発展や情報化社会の発達により物質的に豊かで便利になった反面、地域や人とのつながりより、個人の生活を重視する風潮が見られるようになりました。地域における人間関係が希薄になり、人と人とのつながりの中で人を育てるといふ地域や家庭が担っていた機能が弱体化してきています。

そのため大野市では、大野市教育理念「明倫の心を重んじ 育てよう 大野人」を掲げ、すべての市民が優しく、賢く、たくましい大野人となるよう、さまざまな施策に取り組んでいます。

学校教育においては、「ふるさとを知り、ふるさとを創る」活動とともに、地域、家庭が参加して地域と共に進める学校づくりが求められています。

また、児童生徒数の減少に伴い、適正な集団規模を確保し、教育効果を上げるために学校再編も必要となります。

生涯学習においては、市民一人一人が自己を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において、学習することができ、それぞれが学んだ成果を地域の中で生かすことのできる生涯学習社会の形成が必要です。

地域を担う人材を育成するため、公民館活動の充実を図るとともに、地域の青年活動を活性化する必要があります。

心豊かな青少年育成のため、自然活動やボランティア活動を通じて、生活体験の機会を増やすとともに、家庭教育の重要性の啓発と、地域の子どもは地域で育てるといふ意識の高揚を図る必要があります。

国際感覚のある人づくりを進めるため、市民の国際交流に対する意識の高揚や国際交流の機会を提供する必要があります。

施策1 特色ある学校づくり

地域の個性を生かした「ふるさとを知り、ふるさとを創る」活動を通じて、大野市教育理念の具現化を図ります。

家庭や地域に教育活動への参加を求めて、地域の子どもを地域と共に育てる教育活動と学校づくりを展開します。

児童生徒一人一人の豊かな心やたくましく生きる力を育むため、体験活動や探究活動をさらに取り入れるとともに、地域社会や地域の人々との触れ合い活動を展開します。

適正な集団規模を確保して、教育効果を上げるため、小中学校の再編や幼保一体化*を推進します。

主な事業

- ふるさとの文化を創造する活動
- 地域とともに進める学校づくり
- 幼稚園と保育園の一体化の推進
- 小中学校再編の推進

施策2 生涯学習の推進

生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において、学習することができるよう、生涯学習を推進します。

また、生涯学習センターを拠点に、公民館、図書館などと連携して、学習情報発信、学習相談、学習支援などの情報の一元化を進めます。

主な事業

- 学習の機会や場の提供
- 図書館蔵書・資料の充実
- 学習情報ネットワークの充実

施策3 地域を担う人材養成

人と人とのつながりを強め、ふるさとを愛する心を育てるため、公民館では子どもから高齢者まで気軽に集い、学ぶ機会を増やすとともに、ふるさと意識の向上につながる特色ある講座や地域課題への取り組みなど学習内容を充実し、人材の育成を図ります。

また、地域の青年を育成するため、青年団体活動を支援し、地域の各種団体との連携が図れる仕組みづくりを進めます。

主な事業

- 公民館活動の充実
- 人づくり・地域づくり学習の充実
- 青年活動への支援



施策4 心豊かな青少年の育成

子どもたちの豊かな感性とボランティア精神の醸成を図るため、自然活動やボランティア活動などの、生活体験の機会を増やします。

年齢に応じた家庭教育の講座や学習会などを開催し、家庭教育の重要性について啓発します。また、地域の子どもは地域で守り育てるという意識の高揚を図るとともに、青少年関係団体と連携し、青少年の非行防止と一層の健全育成を推進します。

主な事業

- 子ども体験活動の充実
- ジュニアリーダーの育成
- 放課後子ども教室の充実
- 青少年健全育成活動の充実

施策5 国際感覚のある人づくり

外国語学習や体験的活動を通して児童生徒の国際感覚を育てるとともに、市民団体の国際交流事業を支援し、財団法人福井県国際交流協会などとの連携により、市民の多様な分野における交流の機会を提供します。

また、生涯学習センターや公民館などが行う事業の中で、国際理解を深める講座などを開催します。

主な事業

- 国際理解教育推進員*の活用
- 市民団体が実施する国際交流の支援
- 外国人との交流機会の提供
- 言語指導ボランティアの養成支援

成果指標

指標	内容	平成22年度現状	平成27年度目標
郷土に関する学習の目標実施時間数を達成した学校数	郷土に関する学習の目標実施時間数（年度ごとの全学年合計。小学校で年間250時間以上、中学校で年間80時間以上）を達成した小中学校の数	小学校8校 中学校4校	全小中学校
図書館の貸し出し冊数	図書館の年間延べ貸し出し数	133,788冊 (21年)	140,000冊
公民館講座・教室受講者数	各公民館で開催する講座や教室の年間延べ受講者数	16,881人 (21年)	17,500人
外国人と市民の交流機会提供数	財団法人福井県国際交流協会と連携し外国人と市民の交流事業を大野市内で開催した数	0回	1回



新しい伝統文化の創造
中学生みこし・ダンスパフォーマンス



小学生の田植え体験



親子で門松作り



ふるさとかるた大会決選大会



基本施策2 豊かな心を育てる文化力の育成

現状と課題

人々に元気を与え、地域社会を活性化させて、魅力ある社会づくりを推進する力である「文化力」が重要視される中、大野市においては教育理念を掲げ、文化の分野においても、学び、大野人を育てることに努めています。

近年、越前おおのを特徴付ける地域に伝わる歴史や文化、伝統などが見直されており、これら地域に伝わる文化的遺産が大切に保存され、継承されてきました。しかし、生活様式の変化や、人口減少による後継者不足などにより、その保存や伝承が危ぶまれており、どのように後世に伝えていくかが課題となっています。

大野市においては、優れた文化芸術を鑑賞する機会が少なく、文化施設の整備や文化芸術に触れる機会の充実が課題となっています。

施策1 文化的遺産の保存と活用

文化的遺産についての資料を収集するほか、現状や課題などについて調査を行います。伝統芸能の保存活動に対し支援を行うとともに、古文書などの大野市外流失を防ぎます。地域の文化を地域の住民が大切なものと感じられるよう、収集・調査された資料を、文化施設などで広く公開できるよう努めます。

主な事業

- 文化的遺産の調査と保存
- 伝統芸能継承に対する支援
- 歴史的建造物の整備
- 博物館における企画展などの開催
- 淡水型イトヨ*と生息地の保護

施策2 文化芸術の振興

音楽や演劇、美術作品などの優れた文化芸術に触れる機会を提供するとともに、市民団体の文化芸術活動に対して支援を行います。

また、優れた文化芸術に対応できる施設の整備を推進します。

主な事業

- 音楽会や演劇公演の実施
- 美術展の開催
- 文化芸術活動への支援
- 文化施設の計画的な改修

成果指標

指標	内容	平成22年度 現状	平成27年度 目標
市指定文化財数	市指定の文化財の件数	111件	115件
公演などの開催回数	市が支援する音楽会や演劇などの文化公演の年間実施回数	14回 (21年度)	16回



県指定無形民俗文化財 神子踊



歴史博物館の特別展



市美術展



里神楽(蕨生)



基本施策3 活力あふれるスポーツ社会の実現

現状と課題

スポーツは、競技力の向上を図り勝敗を競うだけでなく、日常生活におけるストレス解消や生活習慣病の予防などの健康維持、人との触れ合いによる楽しさや喜びをもたらす、豊かで充実した人生を送るためにも必要なものです。

一方、生活様式の変化や健康志向の高まりから、人が生涯を通じてスポーツに親しむことは、ますますその必要性が増してきています。

併せて、スポーツ・レクリエーションに対するニーズは多様化してきており、市民が自主的かつ主体的に活動できる環境の整備や施設の充実が求められています。

また、少子化・高齢化の進展により、スポーツ少年団の団員や中学校の部活動種目、競技スポーツ人口が減少するとともに、指導者の高齢化などによる競技力の低下が心配されており、選手の底辺拡大やジュニア期からトップレベルまで、一貫した指導が受けられる体制の整備が必要となっています。

平成30年に開催予定の福井国体に向けて、関係団体との連携の下、地域を挙げて開催に取り組むことで、スポーツへの関心が高まり、スポーツ活動が活発になるとともに、スポーツを「行う人」だけでなく競技大会の観戦などスポーツを「観る人」、そして指導者や大会運営ボランティアなどスポーツを「支える人」が増加することが期待されます。

施策1 生涯スポーツの推進

市民の誰もがそれぞれの年齢や体力、能力などに応じて、生涯を通じてスポーツに取り組める環境を整備するため、公民館などで行うスポーツ教室をさらに充実するとともに、体育指導委員や体育協会、各種目団体、総合型地域スポーツクラブ*が協働して、スポーツに親しめる機会の充実に努めます。

スポーツ活動の受け皿となる各種目団体や総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団などの活動と組織強化を支援します。

主な事業 ●生涯スポーツの推進 ●各種スポーツ大会の開催 ●各種団体の育成

施策2 競技力の向上

幼年期からスポーツに親しめる環境を整備し競技者の底辺拡大を行うとともに、スポーツ少年団と中学校、高等学校および各種目団体の連携を強化し、競技力の向上を図ります。

指導者講習会や指導に関する情報提供などの、指導者の資質向上につながる事業を展開し、共通の指導理念や指導方法に基づく一貫指導体制の整備に取り組みます。

また、平成30年開催の福井国体に向けて、大野市の選手強化や運営スタッフ育成を行うため、全国レベルの大会の誘致・開催や各種目団体と連携の下、開催時の主力となるジュニア選手を中心とした競技者育成を支援します。

主な事業 ●国民体育大会の開催 ●ジュニア選手の強化 ●競技力向上対策

施策3 スポーツ施設の整備と充実

市民の誰もが気軽にスポーツに取り組める環境を確保していくため、既存のスポーツ施設や学校施設などの有効活用を図るとともに、計画的な施設の改修や整備を行い、利用者の安全性や利便性の向上に努めます。

また、福井国体開催に向けて、県と連携して施設の環境を整えます。

主な事業 ●体育施設の整備

成果指標

指標	内容	平成22年度 現状	平成27年度 目標
みんなでスポーツ参加者数	スポーツ教室「みんなでスポーツ」*への年間参加者数	1,600人 (21年)	2,100人
スポーツ施設などの利用者数	体育館などの年間利用者数	246,302人 (21年)	260,000人



基本施策4 共に力を合わせるふるさとづくり

現状と課題

核家族化の進行や生活様式と価値観の多様化などにより、大野市においても地域の連帯感が年々薄れつつある中、人口減少と少子化・高齢化が急速に進むとともに、自主財源の確保が年々厳しさを増し、従来のように行政が主体となった地域づくりが困難になってきています。

今後は、地域の課題を地域で解決していく市民力・地域力を高めることが重要であり、ふるさとを見つめ直し、地域の連帯感を強めていく取り組みを進めるとともに、自治会などの地縁組織、市民活動団体などの自主的活動を活性化するなど、自主的な活動への支援を行うことが必要です。

また、男女共同の精神と人権を尊重する心を育て、住みよい地域づくりを推進することができる環境づくりが重要です。

施策1 市民力・地域力アップに向けた仕組みづくり

市民力・地域力を高めるため、地域の組織や団体などによる地域資源を生かした取り組みや地域に貢献する自主的な活動に対し、支援の充実や機会を拡大していきます。

主な事業

- 各地区における地域づくり事業への支援
- 地域づくり・人づくり活動への支援

施策2 市民協働の推進

活気があり住みやすい地域づくりとともに、地域の連帯感を取り戻すため、自治会活動への支援を行います。

また、市民協働のための指針に基づいて、地域づくり団体や各種公益活動団体などとの協働を推進します。

主な事業

- 自治会活動への支援
- 市民や団体との協働の推進

施策3 男女共同参画社会の推進

男女共同参画社会を実現するため、大野市男女共同参画プラン*に基づき、市民への啓発活動や学習活動に取り組みます。

主な事業

- 男女共同参画プランの推進

施策4 人権尊重社会の実現

市民一人一人が、それぞれの尊厳と権利を認め合い、尊重し合える地域社会を実現するため、大野市人権施策推進計画*に基づき、人権関係団体と連携しながら、市民への啓発活動や講演会の開催などに取り組みます。

主な事業

- 人権啓発活動の実施
- 人権同和教育の推進
- 人権関係団体への支援

成果指標

指標	内容	平成22年度 現状	平成27年度 目標
協働のモデル事業の実施	市民協働推進のためのモデル事業の年間件数（市民提案型・行政提案型）	0件	10件
人権関係の啓発活動	大野市人権施策推進計画に基づいた啓発活動や講演会の年間開催回数	7回 (21年)	10回



矢ばなの里のかたくり



人権週間街頭啓発活動





ドロリンピック



(上) わんぱく相撲大野場所 (下) 越前大野名水マラソン